

単発、短時間、短期間で働くスポットワークの求人倍率は1.97倍。
前年より求人数+46.1%で、6か月ぶりに前年同月を上回る。
-スポットワークマーケットデータレポート（2024年6月度版）-

多様な働き方の調査研究機関「ツナグ働き方研究所(<https://tsuna-ken.com/> 拠点：東京都中央区)」は、ここ数年で広がりを見せる「単発、短時間、短期間で働くスポットワーカーの市場」について定点観測する「スポットワークマーケットデータレポート」を毎月発表しています。

本レポートでは、2024年6月度最新データについて、とりまとめましたのでご報告いたします。

※レポート詳細はこちら：https://tsuna-ken.com/research_report/202406_spotwork-6/

【トピックス】

1. スポットワークの求人倍率は1.97倍。前年より求人数+46.1%、求職者数+20.2%の伸び。
2. 新規ワーク数は、前年比+6.1%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比+46.4%と伸長。
3. スポットワーカーの平均時給は1,174円。前月差+1円、前年差+17円。

■ 1. スポットワークの求人倍率は1.97倍。前年より求人数+46.1%、求職者数+20.2%の伸び。

2024年6月度のスポットワーク求人倍率は1.97倍で、前月比では求人数が増加(+23.1%)したことによって求人倍率が上昇し、季節トレンドどおりの結果となりました。前年比でも、特に求人数が大幅に増加(+46.1%)したこともあり、6か月ぶりに前年を上回りました。

スポットワーク求人倍率の推移



出典) 単発/バイト求人サイト「ショットワークス」2020年6月～2024年6月データを加工
■求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■求職者数：当月登録UU数+前月以前登録者の応募UU数

■ 2. 新規ワーク数は、前年比+6.1%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比+46.4%と伸長。

景気の先行指標とも言われる新規ワーク数は79,522件。増加に転じた5月度(+21.9%)に続き、前年比+6.1%となんとかプラスを維持しました。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比+46.4%と最も伸びが高くなっています。

職種別新規ワーク数伸び率推移

ツナグ
職業別
調査



出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2023年6月～2024年6月データを加工

© 2024 TSUNAGU GROUP HOLDINGS Inc.

■ 3. スポットワーカーの平均時給は1,174円。前月差+1円、前年差+17円。

2024年6月度のスポットワーク平均時給(首都圏・関西圏・東海圏の3大都市圏)は1,174円。前月差+1円、前年差+17円となりました。通常のアルバイト平均時給1,181円(※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」との比較では7円安い結果となりました。

主要3職種で最も賃金差が大きいのは、倉庫内・軽作業でスポット1,188円、アルバイト1,215円と、通常のアルバイト時給が27円高くなっています。

スポットワーク・アルバイト賃金の格差比較

ツナグ
職業別
調査



■通常アルバイト平均時給 ■スポットワーク平均時給(円)

出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均時給2020年6月～2024年6月データ
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2020年6月～2024年6月を加工

© 2024 TSUNAGU GROUP HOLDINGS Inc.

出典)

単発バイト求人サイト「ショットワークス」2020年6月～2024年6月データ

総務省統計局「労働力調査(詳細集計)2024年(令和6年)4～6月期平均」

リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」

■スポットワークマーケットデータレポートとは

・スポットワークマーケットの定義

スポットワークとは、単発、短時間、短期間で働き「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の2種類に分類されます(ギグワークの代表例として、ウーバーイーツ配達員が挙げられます)。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

・マーケットの現状

スポットワーカーは、コロナ禍を契機に急増、今後さらに広がりを見せていくことが予見されます。

個人) 働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少で、追加就労意欲が増大

企業) 生産性向上観点から、ムダやムラのない=必要な時に必要な人数を配置する人件費最適化の高まり

技術) タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者の参入

・定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018年からILO基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加してスポットで働くことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的に捉えると、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした社会的意義と接続する観点から、本マーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化するデータレポートを発信していきます。

■ツナグ働き方研究所とは

株式会社ツナググループ・ホールディングス(本社:東京都中央区/代表取締役兼執行役員社長:米田 光宏)を母体とする、働き方のミライを描き、現場のリアルとの乖離を埋めていくための研究・発信を行なっていく組織です。「労働市場のリアルを、機動的かつ独自の視点から浮き彫りにする」というスタンスで、定点観測的基幹調査から就業者の行動実態を把握する月次調査まで、多岐にわたる調査活動を行っています。

<https://tsuna-ken.com/>

◎過去の調査、リリース(一部)は以下に公開しております。

【2023年アルバイト採用ブランド力調査】

コロナ禍3年、アルバイト最強ブランドは1位ダイソー!2位セリア!

https://tsuna-ken.com/research_report/baito_2023ranking/

バイト探しの情報源はネット化加速!学生では登録型サービス利用が増加!

2023年アルバイト探しに利用した情報源調査(2019-2023比較版)

https://tsuna-ken.com/research_report/arbeit_medium2023/

【アフターコロナの多様な働き方調査】5類移行後の働き方調査

入社回帰の傾向が見られる中、働き手はちょっとテレワークを希望

https://tsuna-ken.com/research_report/telework_5/

<本件に関するお問い合わせ先>

ツナグ働き方研究所(株式会社ツナググループ・ホールディングス)

担当:和田(わだ) tsuna-ken@tsunagu.co.jp

■会社概要

社名:株式会社ツナググループ・ホールディングス

住所:〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビル7・8階(受付8階)

代表者:代表取締役兼執行役員社長 米田 光宏

従業員数:690名/グループ合計(2023年9月30日現在)

URL:<https://tghd.co.jp>

【取材・報道関連に関するお問合せ先】

株式会社ツナググループ・ホールディングス

広報担当 Mail:tghd-info@tsunagu-grp.jp